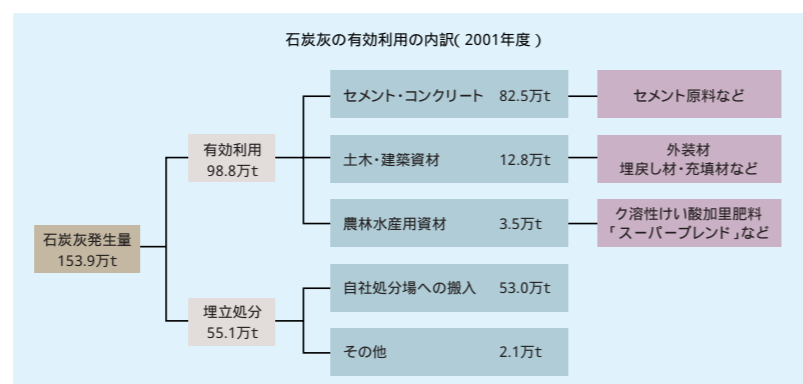
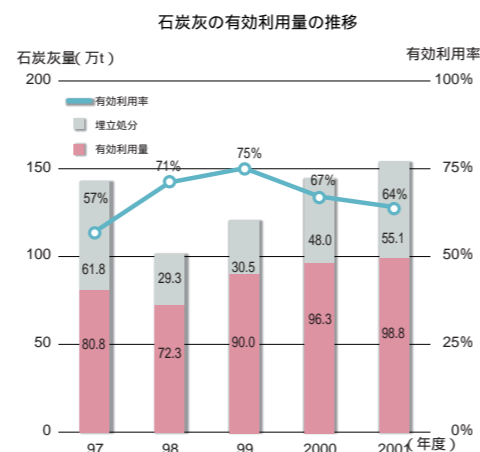


## 資源の再生・再利用による廃棄物の低減

### 石炭灰の有効利用

当社は、石炭火力発電所での燃焼により発生する石炭灰を、セメントや肥料の原料などに有効利用してきました。

2001年度は前年度並みの98.8万tを有効利用しましたが、発生量が前年度比9.6万t増の153.9万tに増えたため有効利用率は64%となりました。



### 石こうの有効利用

当社は、石炭火力発電所の排煙脱硫装置の運転により副産物として発生する石こうを、石膏ボードやセメントの原料としてその全量を有効利用しています。2001年度の有効利用量は約36万tとなっています。



### 建設副産物の有効利用

当社は、電力設備の新設や補修などで発生する建設副産物について、コンクリート塊、伐採木の再資源化や建設発生土の構内での活用など可能な限り有効利用を図っています。

奥只見・大鳥増設建設所(新潟県)は、2001年度に工事で発生した掘削岩をコンクリート用骨材として約10.9万t有効利用しました。また建設汚泥の脱水ケーキについても、リサイクルプラントにより約3,900m<sup>3</sup>を土壌化資材として有効利用しました。

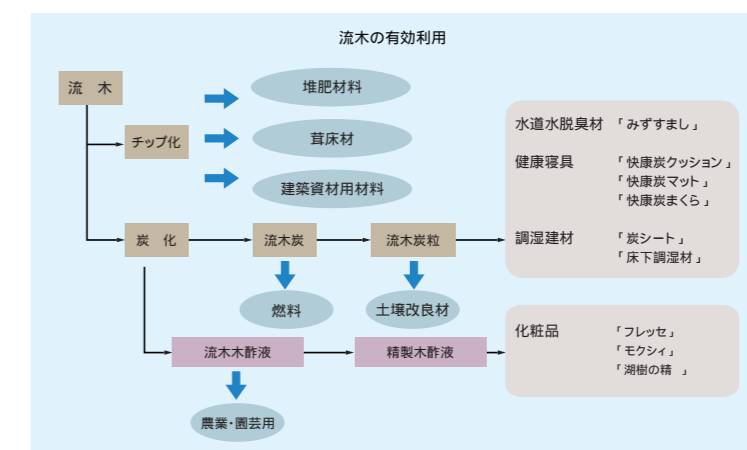


建設汚泥のリサイクルプラント

### 流木の有効利用

当社は、水力発電所のダムに流れ込む流木を回収し、木炭の製造や木酢液の採取に利用したり、チップ化して建築用材料や肥料として再利用して

います。これらの流木の有効利用量は2001年度実績で約5,000m<sup>3</sup>(2000年度実績7,500m<sup>3</sup>)となっています。



### オフィスでの取り組み

当社では全社で古紙の裏面利用、紙類、ビン、カン、プラスチックの分別収集、封筒の再利用などの取り組みにより一般廃棄物の低減に努めています。その結果、本店ビルからの紙くず等の一般廃棄物発生量は2001年度60.9t(2000年度67.5t)となり前年度比で約10%削減しました。



電源開発本店

### グリーン物品の購入

当社では、衛生紙やコピー紙の再生紙使用、パソコン、複写機などのOA機器の省エネルギータイプの採用をはじめとするグリーン物品の購入に取り組んでいます。2001年度からはグリーン購入法の全面施行に伴い、社内で「グリーン製品購入指針」を策定、全社に周知しグリーン物品の優先購入を推進しています。2001年度は12分野で購入実績があり、コピー用紙の再生紙購入率は93%に達するなど、グリーン物品の購入に取り組んでいます。

2001年度購入した主なグリーン物品

分野	品目
紙類	コピー用紙、衛生用紙(トイレトーパー)
納入印刷物	印刷物(報告書類など)
文具類	シャープペンシル、事務用(社名入)封筒、ボールペン、蛍光ペン、ファイル、リサイクルボックスなど
OA機器	電子計算機(パソコン、プリンタ)、複写機
公共工事	低騒音型建設機械(バックホウ、ブルドーザなど)